

平成 24 年度 学校自己評価システムシート (県立進修館高等学校)

目指す学校像	明るく活力にあふれ、「進徳修業」の精神に満ちた人間を育成する、地域が誇りに思える学校。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の向上と進学・就職実績の向上 2 規律ある態度と豊かな心の育成及びエコでクリーンな学校づくり 3 学校情報の積極的な発信と地域の活力を結集した学校づくり
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5 名
	生徒	3 名
	事務局 (教職員)	8 名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目 (年度達成目標を意味する。) は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2月8日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の徹底を図り、転退学者を減少させるため、教科・学科単位で具体的な対策を実施する必要がある。 大学進学を目指す応用力、高度な専門的能力の伸長を目指し、授業改善を一層図る必要がある。 多様な進路実態を踏まえ、3年間を見通し、計画的な進路指導の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①欠点保有者減少に向けた教科・学科の取組の推進 ②学力向上に向けた授業研究の推進 ③校外教育機関との連携推進 ④学力向上補習や進学講習の充実 ⑤個に応じた履修計画の決定支援 ⑥生徒の進路希望を実現する、きめ細かな進路指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①各教科・学科における欠点保有者を減少させるための学習指導と評価の実施 ②各教科・学科による学期毎の欠点解消の制度化 ③教科内研修の充実と、各教科による研究授業の実施 ④予備校等の外部講師による研修会等の実施 ⑤放課後の組織的な補習等の実施 ⑥各学科の系列等に関する計画的な履修指導の実施 ⑦キャリアガイダンスおよびインターンシップの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①転退学者を半減したか。 ・欠点保有者が各学期20%以上減少したか ②授業研修会等を2回以上実施したか ③外部教育機関を活用した研修会を1回以上実施し、教育活動に還元できたか ④成績優良者が前年比3%以上増加したか。 ・専門資格等取得表彰者数が20%以上増加したか ⑤希望調査に基づく履修指導を実施し、適切な選択ができたか ⑥四年制大学合格者数100人以上、就職希望者の内定率が100%になったか 	<ul style="list-style-type: none"> ①1月末現在の転退学者数は、昨年の同期比較でほぼ同数。 ・欠点保有者数は1学期34.1%減少、2学期22.9%減少。 ②授業改善等を目的に中退防止・特支教育研修会を実施。 ③研修会は、夏冬計2回実施。参加者数は延べ7名。 ④成績優良者数は1学期7.5%増加、2学期17.9%増加。 ・資格表彰者は昨年度の22名から30名に増加。 ⑤教育計画部による履修説明会や三者面談等により適切な履修指導を実施。 ⑥1月末現在、四年制大学希望者114名に対し、87名76%が合格。就職内定率は81.7%。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら主体的に学習する力を育成するため、企画委員会内に学習力向上小委員会を設置し、「欠点解消」「学力向上」「基礎学力の強化」について検討を行った。その結果、実力テストの実施、教員による進路ガイダンスの充実、長期休業中の補習体制の強化、学習規律の確立、考査前の事前指導、等々の取組を来年度から実施することとなった。現在、関係分掌で実施に向けて具体的な検討を行っている。 ・欠点保有者の割合が減少し、成績優良者の割合が増加した。全体的に成績は上向き傾向にあるが、このことが生徒の進路実現に繋がるよう前述案の具現化により、この流れを加速させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや時間を守るなどの基本的生活習慣の徹底、規範意識の向上を図るため、積極的な生徒指導をさらに推進する必要がある。 多様な生徒に対応する、生徒理解・生徒支援の体制を充実させる必要がある。 部活動活性化を通じ学校生活に張り持たせ、学校の特色化を図る必要がある。 エコ活動と校内環境の美化に積極的に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①組織的・重点的な生徒指導の推進 ②生徒支援体制の活用 ③部活動の加入率の向上と高い目標を持たせる指導の充実 ④エコ活動と環境美化への積極的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒指導部と各学年の連携を強化し、組織的・重点的な生徒指導の推進 ・全教員による登下校及び昼の巡回指導の実施 ・挨拶の励行と身だしなみ指導の徹底 ・全教員によるチャイム トゥチャイムの徹底 ②外部機関との連携により、生徒・保護者への教育相談、カウンセリングの充実 ③各部活動の実績および活動に関する目標の明確化 ④日常的な清掃活動の充実 ・ゴミの減量と分別の徹底 ・月1回の大掃除の実施 ・こまめな消灯や節水の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒指導案件が10%以上減少したか ・遅刻者が20%以上減少したか ・授業の開始・終了時間が厳守できたか ・生徒アンケートの基本的生活習慣・マナー項目達成率が80%以上になったか ②総合教育センター等の外部機関と積極的に連携したか ③部活動の実質的な加入率が増加したか ・各部活動の実績および活動目標が達成できたか ④大掃除や毎日の清掃、こまめな消灯を実施できたか ・年間の光熱費5%の削減を実現できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒指導案件は昨年2学期末までの比較で15.8%減少。 ・各学期10回以上の遅刻者数は1学期53.9%減少、2学期52.3%減少。1日1クラス当たりの遅刻者数は42%減少。 ・授業開始終了時間概ね良好。 ・生徒アンケートは83%、保護者は85%が「あてはまる」等回答。 ②総合教育センターの指導主事を招き、発達障害の理解と指導方法等の研修会を開催。 ③部活動加入率は4月調査時70.1%、12月調査で56.6%。 ・陸上部が国体で優勝、その他の部も関東・全国で活躍。 ④地域清掃、月1大掃除実施。 ・光熱費は昨年比5%減少。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者の割合が大幅に減少した。昨年度から始めた校門指導の効果が確実に表れつつあり、生徒の生活態度や身だしなみの改善に繋がっている。また、このような生徒の変化は、地域からも高い評価をいただいた。今後も改善に向けた取組の定着を図りたい。 ・センター指導主事による研修会は、教員の理解をさらに深めることができた。今後も継続して実施したい。 ・部活動は、陸上競技部が女子ハンマー投で国体優勝、機械研究部がエコカーで全国準優勝するなど、運動部、文化部ともに、県・関東・全国大会で活躍した。今後も部活動実績の向上を図るとともに、加入率を増加させ、生徒が学習と両立した張りのある学校生活が送れるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校情報の発信をさらに推進する必要がある。 高校への進学指導を充実させるため、中学校等との情報交換など連携をさらに強める必要がある。 地域連携を深め、地域の力を学校に活かし、学校の力を地域に還す取組みの充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①あらゆるメディアを通じた学校情報の積極的発信 ②中学生、保護者等に対する本校の理解度の向上 ③学校自己評価、連携教育、スポーツや芸術を、通じた交流、施設開放などの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校案内、HP、進修館通信の充実 ②学校説明会、授業公開の充実 ③学校自己評価アンケートの実施と活用 ・部活動、学習等に関する小中学校との連携事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報発信の充実・拡大ができたか ②学校説明会及び授業公開の参加者が前年比10%以上増加したか ③学校評議員会や学校評価懇話会の意見を教育活動に反映したか ・小中学校と継続的な連携を行ったか 	<ul style="list-style-type: none"> ①HPは年60回以上更新。学校通信は年6号発行。 ②学校説明会は年5回実施し、参加者数8.5%減少。授業公開参加者は23名減少。 ③学力向上に関する意見があり、企画委内に「学習力向上小委員会」を設置し検討中。 ・3中学校で出前授業、1小学校とボート交流事業を実施。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや学校通信を活用し、生徒の活動等を積極的に発信した。説明会は、「イブニング」や「マンデナイト」(新規工業科説明会)を実施した。本校の特長である普工総の3つの大学科を中学校等へPRするため、今後も戦略的に情報発信等を行っていく。 ・地元小中学校や行田市等との地域連携を17件行った。来年度は中学校出前授業の拡充を検討したい。

実施日 平成25年 3月13日